

第 15 回神奈川県営水道懇話会 議事録

日時：令和 4 年 2 月 2 日（水）14:00～15:30
場所：神奈川県庁新庁舎 10 階企業庁 A 会議室
(zoom によるオンライン会議)

会議次第

- 1 開会
- 2 企業庁長あいさつ
- 3 会議の公開・非公開の決定
- 4 議題
 - (1) 神奈川県営水道事業経営計画の実施状況について
 - (2) 神奈川県営水道事業審議会の設置等について

出席者 別紙出席者名簿のとおり

【1 開会】

事務局より配布資料について説明があった。

【2 企業庁長挨拶】

長谷川企業庁長より第 15 回神奈川県営水道懇話会の開催にあたり挨拶があった。

【3 会議の公開・非公開の決定】

「4 議題（1）神奈川県営水道事業経営計画の実施状況について」は、現在検討中のものであることから、非公開となった。

【4 議題（1）神奈川県営水道事業経営計画の実施状況について】

(非公開であるため、記載なし。)

【4 議題（2）神奈川県営水道事業審議会の設置等について】

○資料 2 神奈川県営水道事業審議会の設置等について

(会長)

ただいま説明があったとおりこの「神奈川県営水道懇話会」は本日をもって廃止ということでございます。

最後に、委員の皆さまから神奈川県営水道について自由なご意見、ご発言をお願いしたい

と思う。

この 7 年あまりの懇話会を通じて、皆さまには県営水道についていろいろと思うところがあるかと思う。これからの県営水道はこうあってほしい、あるいはもっとこうしたほうがいいのではないか。そして、県営水道のここが心配だと 何についても結構ですので、これだけは言い残しておきたいことについて、皆さまお一人お一人から忌憚のないご意見ご発言をいただければと思います。

(委員)

私は委員に就任して約 3 年間くらいであったが、ありがとうございました。私は神奈川県民であり、これからも神奈川の水を使い続けていきたいと思う。

これからはやはり管路の維持管理が大切と思う。気候変動が叫ばれる中、管路の強靱化は継続してもらいたい。とにかく水は全ての人の命に必要なものなので、生活弱者の方にも配慮が必要と思う。しかしながらその補填分を他の水道利用者が負担するというのではなくて、税金の投入により賄う形にした上で、管路の維持管理をやっていくべきと思う。

(委員)

ありがとうございました。

(委員)

7 年間の懇話会が続いたということですが、私は最後の方に関わらせていただきました。専門的な話の中でついていくのが大変だったが非常に学びが多かったと思う。

ここにきて審議会ができたということは、水道事業にとっての過渡期だと思う。インフラが古くなり、新しく建て替える等のことはいろいろなところで動いている。その中で県営水道の弱者にも目を向ける、市民の声を大事にするという姿勢がよくわかった。コロナ禍でこの厳しい財政状況の中で、水道料金を一律 10%減額したということは非常な英断と思うし、これが広報などで伝わるような形になれば、親切な、丁寧な事業体だと思い信頼が増えました。

(委員)

ありがとうございました。

(委員)

私は第 1 回から懇話会に参加しており、長きにわたり関与させていただきありがとうございました。

事務局をはじめ水道事業に携わっている現場の方々の声や、水道事業に向ける思いをかみしめながらこの懇話会で議論をできたのは私の財産になったと思っている。その中で神

奈川県営水道の取組を紹介していただいたりしたが、住民や地域の中で活動される企業、水道の利用者の利便性を考えて、なおかつ親しみやすい安心安全の水の提供というところにしっかりと着眼しつつ、30年間超の長い経営計画の中でという長期の施設のダウンサイジングなども当初から考えており、長期的な目線を持って運営している事業体であると実感しながら、それを着実に実施していく姿に敬意を表したい。

一方では、人口減少やウィズコロナという中で、今までにない舵取りをしていかなければならないというところで、今までの委員の皆さまの発言にもあったが、料金改定は避けて通れない課題であり、料金体系の問題についても平成27年度から長きにわたって専門部会で議論してきたものが、最終的には昨年懇話会の中で報告書の形でまとまった。懇話会は発展的に解消して審議会になり、そちらにバトンが渡されるということであるので、その中で住民の皆さんが納得し、理解を得て、水道料金の改定を推進できる形で皆さまの力を見せていただければ嬉しく思う。さらに安心安全で親しみやすい神奈川県営水道に発展していただきたいと思っており、私も微力ながら審議会の方でもお手伝いできるところはさせていただきたいと思っている。

長い間ありがとうございました。

(委員)

ありがとうございました。

(委員)

長い間、関わらせていただきありがとうございました。寒川の浄水場見学では50何十種類の検査をしていることを聞きましたし、こういうことは懇話会に携わっていなければ知ることができなかったと思う。海外では、お店で出る水がお金を払わないと飲めない。日本の水の安心安全をこれからも願っている。ありがとうございました。

(委員)

ありがとうございました。

(委員)

コロナ禍で今まであって当たり前だった様な事業やサービスが、あらためて重要性がはっきりと認識されたのではないかと思う。その中でも水道事業は最たるものの一つだと思う。その中で、水道事業を支えているエッセンシャルワーカーの皆さんが如何に努力して日々の供給に当たっているかということ、多くの県民の方々に知っていただくいい機会であったと思うし、そういうことについて県営水道が努力をしていることがよくわかった。

特に『さがみの水』は、他の水道事業体が出している広報紙と比べても、県民目線に立って意思疎通を図ろうという意欲が非常に紙面に溢れていて、とても良い出来栄への広報誌

だと思う。そういう視点にも感心させられた。長い間ありがとうございました。

(委員)

ありがとうございました。

最後に事務局からお話があればお願いしたい。

(事務局)

この7年間の懇話会にご参加いただきありがとうございました。

懇話会で頂いた意見を「これからの時代にふさわしい料金体系」という形でまとめていただいたが、これは非常に大きなものだと思っている。新たに審議会を設置してそこでもご議論いただくが、料金体系の関係については、取りまとめていただいた意見書がベースになり、そこから出発していただくのかなと思っている。また、意見書には反映されていない様々なご意見をいただき、ありがとうございました。県議会からは、公開している懇話会の議事録から、大変貴重な意見をもらっているのではないか、ちゃんと受けとめているのか、という指摘もされている。懇話会でいただいた意見をしっかりと受けとめて、これからの事業運営をさせていただきたいと思う。これで懇話会は幕を閉じさせていただくが、皆さんからいただいた意見をしっかりと審議会に引継げるようにしていきたいと思う。

本当にありがとうございました。

(委員)

ありがとうございました。本日の会議は以上です。

先ほどのお話にあったとおり、神奈川県営水道懇話会は本日をもって廃止ということです。最後に私から挨拶をさせていただきます。

委員の皆さま、この間ありがとうございました。大変素晴らしいメンバーに恵まれ、私は会長を務めさせていただいたが、委員の皆さまのお力添えでこの懇話会を進めてこれだと思っている。ありがとうございました。先ほどから意見が出ており、水道はこれからが本当に大事な曲がり角と私自身も認識している。100年先、200年先を見通した上で、30年、50年を考え、当面の5年、10年を進めていくという超長期計画にもとづいてこの目の前にある難問を解決していくということをやっつけていかないといけない。水道というのは急には作れないし、維持管理することもできない。長期的視点、未来志向で、ひいては神奈川県民の発展のためにやっつけていかないといけないと実感している。

先ほど委員からもお話しがあったが、県営水道が行っている水道フレンズでは、神奈川県では他の水道事業体で使用している「モニター」いう言葉を使わず、「フレンズ」という言葉を使っている。県営水道は水を配る方も受ける方も一緒になって友達同士で未来に向かって進んでいこうという心意気と思う。

そういう風な視点でこれからの審議会においても、料金体系をどうしたらいいのか、未来

の神奈川の水道はどうしたらいいのか、特に県営水道の一番大変なところは、山間部もあり、人口密集地帯もあり、過疎の地域もあるという状況の中で、どのような施設をどういうふう
に未来に向けてシステムを継続、持続していくのが非常に重要な視点だと思う。また、関
東大震災以来 100 年近く経つが、巨大地震は間違いなく来るので、それに対していかに強靱
な水道を作り上げていくのかも大きな使命だと思う。コロナ渦においても 1 日たりとも断
水することなく水は供給していかなければいけないが、事業継続計画をしっかりと打ち立
てているからこそ、24 時間 365 日水の供給が途絶えないと思っている。県営水道に携わる方々
のご努力により、水道が成り立っていると私は常々思っている。

今後も、委員の皆さまにはこの神奈川県営水道を見守っていただき、いろいろな意見を事
務局にお寄せいただければありがたいと思う。まずはここでクロスフレンズができました
ので、是非とも今後ともよろしくお願ひしたいと思う。皆さま、これまで本当にありが
うございました。心から御礼を申し上げます。

(事務局)

委員の皆さま、貴重なご意見ありがとうございました。

経営計画の実施状況については、本日の議論を踏まえて修正を行った上、今年の 3 月上旬
に県議会に報告し、3 月下旬に県ホームページに公開する予定です。

以上をもって、神奈川県営水道懇話会を終了します。皆さま、今まで本当にありが
うございました。

第15回神奈川県営水道懇話会出席者名簿

神奈川県営水道懇話会委員

- こいずみ あきら 小泉 明 会長
(東京都立大学 都市環境学部 特任教授)
- おおた ただし 太田 正 副会長 (作新学院大学 名誉教授)
- いしかわ かずこ 石川 和子 委員 (あやせくらしの会)
- たかはし しょうこ 高橋 晶子 委員
(EY 新日本有限責任監査法人 シニアマネージャー 公認会計士)
- もりなが みつる 森永 充 委員
(東京ガス株式会社 神奈川支社横浜支店 副支店長)
- にいみ まさみ 新實 正美 委員 (公募委員)
- はせがわ みきお 長谷川 幹男 委員 (神奈川県公営企業管理者)

企業庁職員

- 池田 雅夫 企業局長
- 田中 秀基 企業局副局長
- 宮林 正也 技監兼水道部長
- 小碓 聡史 財務部長
- 柳川 哲也 公民・広域連携担当部長
- 井上 博克 財務部財務課長
- 花形 正樹 水道部経営課長
- 志澤 洋史 水道部計画課長
- 渡井 大輔 水道部浄水課長
- その他関係職員